



大洲城 Ōzu Castle

築城年代：鎌倉時代末期

主な城主：宇都宮氏、戸田氏、藤堂氏、脇坂氏、加藤氏

所在地：愛媛県大洲市大洲903 アクセス：JR伊予大洲駅からバス5分、下車後徒歩10分

伊予の小京都「大洲市は、愛媛県西部に位置する人口5万の城下町である。市内を肱川がゆるやかにうねり、夏には鵜飼い、秋には芋炊きと古くからの川遊びで賑わう。旧市街には江戸・明治の町並みが多く残り、風光明媚このうえない。しかし、この美しい城下町にただひとつ欠けているものがあつた。城である。大洲城は、明治政府による「廃城令」を受け、1888（明治21）年に取り壊された。城の復興を願う市民の声は高かったが、実現されぬまま、残された4つの櫓と苔むした石垣だけが110年の時を刻んだ。1998年、市民の悲願である天守の復元計画が発表された。国産の木材のみを使用する本格復元である。心柱は、大洲藩を240年間治めた加藤氏の菩提寺から切り出され、柱の多くは、市民から寄贈された。総工費16億円のうち4億5000万円は市民の寄付による。2004年に蘇った城は、空白の時などなかったかのように、肱川の清流にその姿を映している。

癒しの系譜～名城

お城めぐりFAN <http://www.shirofan.com/>

文／倉本 実紀 写真／岡 泰行
Miki Kuramoto Yasuyuki Oka

